



アルチンボルドは創意を凝らして「四季」(P83,179,199/P89,163,203/P45,167,173/P95,171,185,209)を制作した。この連作には複数のバージョンがあり、「四大元素」(P119/P141/P47,131/P125)の連作と並んで、宮廷に仕えていた時期に制作した作品の大きな部分を占めた。アルチンボルドはこの2つのテーマを何度も繰り返し、1563年、1569年、1573年、1575-1577年に制作した。その中で、「四季」の連作は「四大元素」の連作と関連づけられていた。作品のすべてが完成したわけではなく、また、すべてがまとまって残っているわけでもなく、失われた作品もある。

「法曹」(細部2)

カンバスに油彩、70 x 54 cm

ミラノ 個人蔵